

急性大動脈解離の Evidence Practice Gap の可視化を行うための指標の作成と 測定に関する研究へのご協力をお願い

国立循環器病研究センターでは、日本循環器学会（以下本学会）が実施する全国的に循環器診療の実態調査を展開して診療実態を具体的な数で把握するためのデータベースを利用して「急性大動脈解離の Evidence Practice Gap の可視化を行うための指標の作成と測定に関する研究」を行っています。

[対象となる方]

本学会に協力する全国の循環器科または心臓外科を標榜する施設に2012年4月1日から2015年3月31日に急性大動脈解離にて入院された患者さんです。

[研究期間] 倫理委員会承認日～2022年3月31日

[研究課題名]

急性大動脈解離の Evidence Practice Gap の可視化を行うための指標の作成と測定に関する研究

[研究責任者]

国立循環器病研究センターOIC循環器病統合情報センター・センター長 宮本 恵宏

[研究の目的]

本研究は、急性大動脈解離の診療実態を把握し、診療の質を均てん化するために推奨される医療と診療実態のギャップを可視化することを目的とします。

[利用する診療情報]

参加施設から日本循環器学会循環器疾患診療実態調査へ提供された以下の情報

生年月日、性別、発症年月日、入院年月日、入院経路、病名、併存症名、合併症名、入院前NYHAスコア、画像診断・検査の有無、リハビリテーションの有無、退院先、退院時DPCコード、院内死亡の有無、在院日数、退院時転帰、入院中および外来時の処置・手術内容、実施日、使用された薬剤・医療材料など

[個人情報の取り扱い]

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

[問合せ先]

研究責任者 国立循環器病研究センターOIC循環器病統合情報センター・センター長 宮本 恵宏

研究事務局 OIC循環器病統合情報センター 住田 陽子

TEL：06-6170-1070（内線：40315）